

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	経営企画課	事業No.	335
事務事業名		会計	病院事業会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		6	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
	分野別計画			飯田市立病院中期計画	
				飯田市立病院新改革プラン	
法令・例規等					
事業目的	対象	飯田・下伊那（二次医療圏）の住民			
	意図	安全・安心で良質な医療の提供			

2 事業内容

3年度取組	取組内容	経費の内容			事業費(千円)
	市立病院中期計画（令和元～3年度）の6つの基本方針の実現に向けた取組を進め、地域の中核病院として地域医療を守り地域住民の健康を支える役割を果たすことに努めました。 1 安全・安心で良質な医療の提供 2 患者さん中心の医療の実践 3 地域の保健、医療、介護、福祉機関との密接な連携 4 教育・研修機能を高め、医療水準の向上と誇り・やりがいの持てる職場づくり 5 健全な病院経営の推進 6 防災対策及び環境に配慮した取組の推進	医療費用（給与費、材料費など）			13,701,255
医療外費用（利息の支払いなど）				164,468	
資本的支出（施設改修、医療機器の整備など）				2,071,356	
その他の経費				0	

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	入院患者数	人/年	119,844	103,817						
外来患者数（健診等除く）	人/年	215,000	200,765							
救急車受入件数	件/年	3,500	3,556							
分娩件数	件/年	1,100	1,023							

3年度決算(千円)	予算額	16,910,736	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	15,937,079	(国) 臨床研修費等補助金 ほか								
	財源の状況	国庫支出金	10,499	(県) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金 ほか							
		県支出金	860,876	(地) 病院事業債(充当率100%)							
		地方債	855,600	(そ) 一般会計からの負担金及び出資金							
		その他	1,431,150	※一般財源は診療報酬など ※事業費は人件費を含む額							
一般財源		12,778,954	2→3 繰越額 12,073千円 3→4 繰越額 66,390千円								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	72	0	0	0	0	0	16,910,736	15,937,079	
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、市立病院は新型コロナ対応を行いつつ、地域の中核病院として求められる役割（救急、がん診療、周産期、高度医療等）を果たすため、病院中期計画に基づく取組を進めました。我が国の新型コロナ対応では地域の医療機関の役割分担や連携の重要性が改めて認識されたところであり、2022年診療報酬改定でも機能分化や連携強化が推進されています。市立病院の運営においても地域医療連携を更に推進していく必要があります。								
上記の課題解決のための有効策	地域における持続可能な医療提供体制の確保に関しては2025年を目標とする地域医療構想の実現に向け、構想区域内に設けられた調整会議で病床の機能分化や連携について協議が行われてきています。新興感染症対応や医師の働き方改革等を踏まえた今後の地域医療構想の進め方の方針が国から示されたところであり、今後、地域での協議が活発化するものと考えます。								
次年度に向けての取り組み	市立病院では令和3年度に第4次中期計画（4～9年度）を策定し、4年度以降、計画実現に向けた取組を進めることとしています。4年度は引き続き新型コロナ対応を行いつつ、地域の中核病院として求められる機能（救急、がん診療、周産期、高度医療等）の充実、患者さん中心の医療の実践、地域の医療機関との連携強化等に取り組んでいく予定です。								